

# magis

St. Ignatius Church



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』(教皇フランシスコ)―「ミッション 2030」―福音を伝える

## 李 神父様、ようこそ。 温故知新

教会が21世紀の社会の中で福音を宣べ伝える難しさを日々感じながらも、勇気と寛大な心をもって出かけて行き福音を伝えるためには、日本の初代教会の共通記憶である3つの姿を大事に大切にしていきたい。その教会の姿は今の教会のわたしたちを照らし、そしてゆくべき道を示してくれると思う。

### ①ミゼリコルディアの組み

(慈しみ、慈悲の組み、王職)

泣く人、苦しむ人、ものを言えない人たちに居場所を用意した教会。野垂れ死にした遺体を引き取り担いで丁寧に拭いて新しい墓に葬った。キリストを信じる人たちが全国に増えた時、あちこちでそういう行き様が現れてきた。『あなたに会えて良かった。あなたたちがいてくれて良かった。』教会はなくてはならない存在だった。いても良い、いなくても良い、そういう存在じゃなくて、『あなたたちがいないと困る』。これが日本教会の姿だった。

### ②サンタマリアの組み

(学び、信仰教育、聖母の組み、預言職)

人に最も大切なものは何ですかと尋ねられたら、何と答えますか。今は、愛です、思いやりです、優しさです、そういう答えが返ってくる。ところが、昔この質問をしたら、ハンを押したように同じ答えが返ってきていた。『人に最も大切なものは何ですか。』『人に最も大切なものは宗教です。』『では、宗教とは何ですか。』『宗

教とは、神に対する人の道です。』徹底的に教えられた、あの時代は。捨てるはいけないもの、諦めてはいけないものがある。それが信仰教育である。

### ③エウカリスティアの組み

(聖体、聖体の組み、司祭職)

日本の教会はあちこちの教会で殉教者が出るようになる頃、信者たちは激しい迫害のために苦しくて、不安で、皆の心はバラバラになって、明らかに亀裂が入り始めていた。『進んで殉教した方がいい』。『いや、逃げろ、隠れろ、捕まるな、そして隠れてでも良いから信仰をそっと生きろ。』教会には大きな分裂が起こっていた。その時に、日本の教会が向かった先は聖体の前だった。40時間聖体の前で必死に祈り続けていた。聖体とは何なのか。それは一致のための秘跡。一致のためのお恵み。教会理解と聖体理解を深く結びつけていた。

信仰が自由になった日、日本の教会が向かった3つの姿と順番を覚えよう。スローガン:「ミサエ与る」(ミゼリコルディア、サンタマリア、エウカリスティア) 頼むよ、「ミサへ与る」。ありがとうアーメン。



イ サンウォン  
李 相源 s.j.

## ミッション 2030 -前文-

私たち聖イグナチオ教会は、祈りにもとづく使徒的共同体を生きていきます。

現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、環境破壊など、未来に希望を見いだすににくい反福音的なものに脅かされています。それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉を開いていきます。

私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、貧しい人や弱い人の声を聴き、皆でともに手をたずさえて（日本人も外国人も、老いも若きも）、福音のよろこびを分かち合っていく使命を生きていきます。

## 5月の共同祈願

いつくしみ深い私たちの主よ  
緑あざやかに春から夏へ移り替わるこの季節を  
今年も迎えられたことに感謝します。  
母の日を思い起こし、神の母乙女マリアを  
いとおしく受け入れられますように。

(解説)

日本において、この季節は梅雨入り前の最も美しく、過ごしやすい日々です。復活祭・初聖体などの行事を終えて、私たちが心からイエス様のことを深く考え、そのうえで祈ることの出来る季節だと思えます。私たちはマリア様のお取次ぎを願いつつ信仰がより深いものになるように、心からお祈りしたいと思えます。

## 「ミッション2030」 - 福音を伝える①

### 福音を伝えること

2017年度より、イグナチオ教会はミッション2030という教会方針に従って歩いていくことになりました。今年は特に、福音を伝えることを意識していくことになりました。

ミッション2030の前文をこの記事の左上に載せてあるので、じっくりと読んでみてください。ごく簡単に述べると、救いの恵み（フランシスコ教皇は福音の喜びという言葉で語られました）を、ただ自分で独り占めするのではなく、まわりの困っている人びとにも分かち合っていこうとする姿勢です。

ミッション2030を策定する前、私たちは教会の中のさまざまな問題点を洗い出していました。でも、最終的に明確になったことは、教会の中をよりよくしていくことは大事だが、それ以上に大切なことは、私たちのまわりの社会にはもっと大きな問題があり、多くの人が神の救いを求めているということに気づいたことです。

皆さんの中にも、多少の問題を抱えて苦しんでいる方がおられることでしょう。しかしながら、私たちは自分の問題だけを見つめるのではなく、まわりにおられる方々の苦しみに心を開き、救いの手を差し伸べていく心がけが大切ではないでしょうか。

まずは、自分自身が主によって救われていたという実感を思い出してみましょ。信者になってよかったことは何でしょうか。その恵みや喜びを思い出してみましょ。恵みを思い出すだけで、心に平安と喜びが蘇ります。それを独り占めしているのは、もったいないことではないでしょうか。それをまわりの人とどう共有していけるか、考え、祈ってみましょ。

現代社会では、無神論的で世俗的価値観が強いので、神の恵みということ自体、なかなか受け入れられないことだと思います。家族に対してでさえ、福音の喜びを伝えることは容易なことではないでしょう。

昨年は祈りを深めるというテーマでしたが、祈りなしに福音を分かち合うことはできないと思います。まわりの人に神の恵みをわかち合っていけるように、神に祈り求めましょ。そして、今の自分にできることを考えて、小さな試みから始めてみましょ。

はなふさ りゅういちろう  
英 隆一朗 主任司祭

## 佐々木神父様、ありがとうございました。

2012年4月から6年間、主任司祭を務めてきた佐々木神父様が山口県下関市の細江教会へ主任司祭として異動されました。

いつも静かに教会全体の動きを見られながらも、折々に共同体のあり方や祈りの姿勢を示して来られたことに感謝いたします。

神父様は、秋までサバティカル休暇を取られてから赴任される予定です。



イースターエッグ作りをした  
子ども達を祝福

復活祭 10 時ミサの中で  
お別れ会をしました

## 教会施設“修繕・保全報告”

教会施設の 2017 年度修繕・保全の主な実施内容をご報告いたします。

### 1. 2017 年度実施状況

- 1) 建築関係
    - ・1 F 男女トイレの改修
    - ・信徒会館 103 号室 (旧 Br. エルナンデス室) の改修
  - 2) 空調設備関係
    - ・マリア聖堂空調設備の整備補修
  - 3) 給排水衛生設備関係
    - ・1 F 男女トイレの便器改修
    - ・ザビエル聖堂池の砂濾過装置更新
  - 4) 電気設備関係
    - ・1 F 掲示板への照明設置
- その他を含め、合計 12 件の改修・整備補修・更新を行い、予算 2300 万円 (税込) 対し、費用実額は 1990 万円 (税込) となりました。

### 2. 2018 年度実施計画

- 1) 建築関係
    - ・主聖堂脇外階段劣化破損修繕
    - ・回廊屋根板金劣化部分補修
  - 2) 給排水衛生設備関係
    - ・空調冷温水配管劣化防止長期延命処置
- 以上、3 件を計画しており、予算は 1700 万円 (税込) を計上しています。

施設委員会

## 家族揃っての洗礼のお恵み

中学・高校とカトリックの学校に通っていた当時の私は、キリスト教信者も罪を犯しているという側面に囚われ、素直な信仰心よりも反発心さえ抱いていたような生徒でした。

そんな私とは対照的に、娘たちはカトリックの小学校で祈りの言葉を覚え、所属する合唱隊で教わってきたラテン語の聖歌を家でも鼻歌交じりに歌うようになりました。

また所属する合唱隊がサン・ピエトロ大聖堂で新年に行われるフランシスコ教皇様司式の御ミサにて歌で奉仕するという機会があり、共に訪れた私どもも約六千人の人々と歌い、祈りました。その年は、いつくしみの特別聖年ということで「聖なる扉」をくぐる機会にも恵まれました。

こうして娘たちを通じて様々な招きを頂いたにも関わらず、まだ私は内なる声に真摯に向き合うこともなく日々を過ごしておりました。家内に声をかけられていなければ、イグナチオ教会や入門講座に通うこともなかったかもしれません。

しかし、何とはなしに訪れたイグナチオ教会の御ミサで心惹かれるものがあり、岩島神父様の入門講座の門をたたきました。時を同じくして、家内はシスター品川の入門講座、娘たちは土曜学校に通うようになりました。

罪深い私にはときに耳に痛いお話もありましたが、一方で救われ、赦されているような想いも味わい、その度に感謝の気持ちの高まりを感じました。家庭内でそれぞれが教わったこと、感じたことを分かち合えたことも、大きな支えであったと思います。また、入門講座のヘルパーの皆様、土曜学校のリーダー、代父母様の神様に対する姿勢にも大いに勇気づけられ、気付けばあれほど頑なだった私が、この道を歩んでいきたい、信じたいという主体的な想いをいつの間にか募らせておりました。

4月1日の洗礼式で、岩島神父様に洗礼を授けて頂いたとき、目の前にいらっしゃるイエス様が温かく包み込んでくださるような感覚を抱きました。約30年も神様は待っていてくださった上に、家族全員で受洗するという大きな恵みをもたらしてくださったのです。まさに神様の愛を感じた瞬間でした。「アヴェ・ヴェルム・コルプス」が清らかに響き渡る教会で初めて頂いたご聖体からは、想像をはるかに超える力を頂きました。

聖ペトロのごとく「知らない」という態度をとっていた私ですが、一番小さい教会である家族の礎となり、神様の愛に応えられるよう、これからも歩んでまいりたいと思います。

ペトロ 水野 浩一郎



## 献堂記念行事のご案内

福音の喜びをあじわおう  
～いつも喜んでいなさい～

当教会の主聖堂は1999年6月6日献堂、今年で19周年です。私たち共同体の家である主聖堂の記念日をともに喜び、お祝いしましょう。

### 献堂記念ミサ

6月2日(土) 18:00

6月3日(日) 全てのミサ

時間・場所は日曜のミサと同じです。

欄外下のミサ時間をご参照下さい。

### 大掃除 6月2日(土) 9:00～11:00 前後

心をこめて隅々まで綺麗にして献堂記念日を迎えましょう。

掃除のできる服装でいらして下さい。

掃除用具はクリーンアップグループで用意します。

### 教会祭 6月3日(日) 10時ミサ～16:00

10時ミサで共に主聖堂の記念日をお祝いし、献堂記念教会祭に参加しましょう。

福音の喜びをわかちあう集い、バザー、こども広場、読み聞かせ、祈りの集い、教会案内ツアー、国際フードコート、手話教室、歌や踊りで福音の喜びを伝えるステージ発表など…テーマに合わせた催しの数々でみなさまをお迎えます。

み言葉に触れる、仲間と楽しむ、教会のことを知る、静かに祈る…恵み豊かな一日を過ごしませんか？

\*詳しくはポスター、チラシ、教会ホームページをご覧ください。

## 金婚式・銀婚式を迎えられる方々へ

聖イグナチオ教会では、当教会所属の信徒で今年結婚生活50周年、25周年をお迎えになる方々のために、パチカンが発行する「金婚式・銀婚式祝福記念証書」を授与できるように手配させていただいています。

ご希望の方は、聖堂前室の案内チラシをご覧の上、申込書に必要事項を記入して、教会事務室に提出されるか、郵送またはFaxにてお申し込みください。

### 申込締切は7月1日(日)(厳守)

祝福記念証書は10月7日(日)10時、結婚感謝ミサにおいて授与されます。

## 新受洗者・転入者のためのオリエンテーション 6月17日(日) 10:00～12:00 ヨセフホール

新受洗者・転入者・改宗者の方向けの教会生活ご案内の集い。

神父様方からのお話し、活動グループ紹介、事務手続き説明などがあります。信仰生活を送るにあたり、分からない事を主任司祭にお伺いする時間もあります。

## 4月の宣教司牧評議会から

- ・司祭団に李神父様、ブラザー吉羽が加わることになりました。
- ・本年はイースターエッグ頒布を自由献金にてお願いしましたが、多くの献金をいただきました。
- ・献堂記念教会祭は、年間テーマ「福音を伝える」を反映した一日となるように準備を進めることにします。
- ・ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンターを新たに担当していただくシスター方が決まり報告された。

### ミサの時間 Mass

#### 【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel

7:00/12:00/18:00 (Japanese)

(土曜日18:00は主日ミサ)

#### 【日曜日 Sunday】主聖堂 Main Chapel

7:00/8:30/10:00/18:00

(Japanese)

12:00 (English) / 13:30 (Español)

Xavier Chapel 16:00 (Indonesian)

#### 【月の第1日曜日 1st Sunday】

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)

Mary Chapel 12:30 (Português)

16:00 (Polski)

主任司祭: 英 隆一郎

助任司祭: ギュンタ・ケルクマン

(アルファベット順) 李 相源

田丸 篤

協力司祭: ヘネロソ・フローレス

(アルファベット順) ハビエル・ガラルダ

平林 冬樹

ブラザー: 吉羽 弘明

シスター: イベッテ・サンチェス

(セントロ・ロヨラ)

ローズ・レミジオ

(ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンター)

## カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083 千代田区麴町6-5-1

TEL 03-3263-4584 FAX 03-3263-4585

ホームページアドレス: <http://www.ignatius.gr.jp>